

一般国道 18 号 (坂城更埴バイパス) 改築工事に伴う発掘調査

しおざきいせきぐん 塩崎遺跡群現地説明会資料

(一財) 長野県文化振興事業団
長野県埋蔵文化財センター

長野県埋蔵文化財センターでは平成 25 年度から塩崎遺跡群の発掘調査を行っています。本年度も 4 月より発掘調査をはじめました。この塩崎遺跡群をはじめ善光寺平南部の千曲川沿いの自然堤防と呼ばれる高い場所にある集落遺跡では、弥生時代中頃～平安時代前半にいたる長い間の人々の生活跡が重なり、^{まがたま}勾玉や^{くだたま}管玉、鏡、銅製や鉄製の腕輪などの身分の高さや権威を表す^{そうしんぐ}宝器や装身具の出土が多いことで知られています。今回の現地説明会では、そうした塩崎遺跡群の一端をご覧いただければと思います。



調査の概要

所在地 : 長野市篠ノ井塩崎

調査面積 : 6,000 m²

調査期間 : 平成 26 年 4 月 10 日～11 月 28 日 (予定)

調査原因 : 一般国道 18 号 (坂城更埴バイパス)

改良工事「国土交通省長野国道事務所」

今年の調査で発見されたもの :

遺構 竪穴住居跡 100 軒以上 (弥生～平安時代)

掘立柱建物跡 10 棟 (奈良～平安時代)

溝跡 4 条 (古墳～中世)

墓跡 7 基以上 (弥生～平安時代)

土坑 300 基以上 (弥生～平安時代)

遺物 弥生時代の土器・土製品・石器・玉類

古墳時代の土器・石製品・金属製品・玉類

奈良～平安時代の土器・石製品・金属製品

見どころ

1 : ヒスイの玉をつくった弥生時代中期のムラ

今回の調査で弥生時代中期後半頃の残りの良い竪穴住居跡がみつけられました。縄文時代の終り頃には定住しながら、狩猟を中心とする生活をしていましたが、弥生時代になって、本格的な稲作を行うことにより、安定した定住生活をするようになりました。この竪穴住居跡から玉の原料となるヒスイや^{ぎょうかいがん}緑色凝灰岩の石片がみつけられ、遺跡内で玉を作っていた可能性が高くなりました。



弥生時代中期後半の竪穴住居跡
(SB1066 直径約 4.2m)

2：たくさんみつかった弥生時代後期の竪穴住居跡

今から約1,800年前の弥生時代後期の竪穴住居跡が調査区（P4 図面参照）の広い範囲で数多く見つかりました。頻繁な建て替えもあるかもしれませんが、竪穴住居跡の多さは塩崎遺跡群は安定した居住地で人口が多かったことを示すと考えられます。



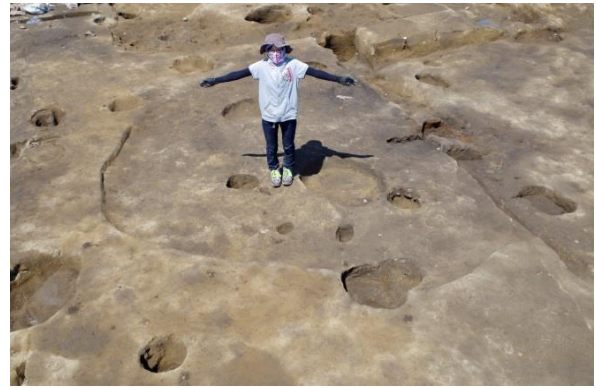
古墳時代はじめ頃の井戸跡から出土した土器

4：千曲川沿いに並ぶ古墳

昨年度調査につづき、千曲川寄りの場所で古墳時代中期（今から約1,500年前）の古墳がみつかりました。昨年度調査では古墳周囲を巡る溝跡からウマの骨が出土し、この頃に塩崎遺跡群でウマの飼育が行われていたこともわかりました。本年はその古墳の北西側に2基古墳がみつかり、古墳は千曲川沿いの場所に5基並んでいたことがわかりました。



出土した円面硯（SB1078）



弥生時代後期の竪穴住居跡（SB2022）

3：古墳時代はじめ頃のムラの姿

昨年度、千曲川寄りの場所で、四角く溝で囲まれた墓（方形周溝墓）や土坑墓がみつかりました。本年度は自然堤防の中央で竪穴住居跡や井戸跡がみつかり、川沿いを墓地、自然堤防の中央を居住地にしたムラの姿がわかりました。同じようなムラは篠ノ井遺跡群でもみつかり、今から約1,700年前には弥生時代後期よりも小さくまとまったムラが点在していたと考えられます。

昨



古墳時代中期の古墳周溝（SM1020）

5：役人の存在を示す奈良時代のすずりが出土

円面硯と呼ばれる上からみると丸いすずりの破片がみつかりました。奈良時代には法律で全国同じように統治される仕組みができ、地方には国・郡に戸籍・納税記録等の事務を行う役所が置かれました。硯はそうした事務を行った役人がいたことを示す証拠です。塩崎遺跡群では役所の跡がみつからないので、事務の一部をムラの有力者が担っていたか、役所に勤める役人が住んでいたと考えられます。

6：現在の道に沿った場所にある平安時代末頃の溝跡

現在の市道に沿うように平安時代末頃の溝跡がみつかりました。平安時代末頃には現在と同じような場所に大きな土地の区画があった可能性が考えられます。また、その溝のなかからウマのほぼ全身骨がみつかりました。
(下の写真)



平安時代末頃の溝跡（S D1020）

遺物の出土状況



小さな勾玉（S B2044 出土）



カマド近くから出土した古墳時代末の土器（S B2047 出土）



ウマの全身骨（S D1020 出土）

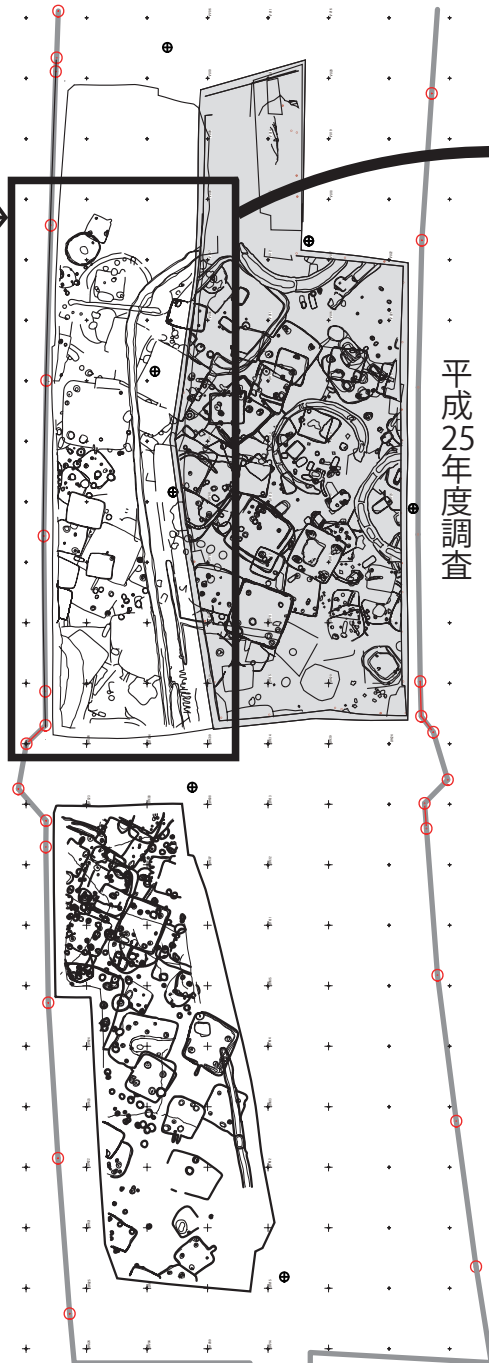
メモ

説明会会場

1-2区

2-1区

平成25年度調査



受付・遺物展示

トイレ

駐車場

弥生時代中頃の
竪穴住居跡

平安時代末の溝跡と
ウマの全身骨格

古墳時代末の
大型竪穴住居跡

円面硯出土の
奈良時代の竪穴住居跡

古墳時代中頃の
古墳周溝跡

見学順路

長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4

TEL (026)293-5926

FAX (026)293-8157

E-mail info@naganomaibun.or.jp

インターネット（最新の情報はこちらから）

長野県埋蔵文化財センター

検索



<http://naganomaibun.or.jp/>

